

施策評価表

施策分野	5-1 都市景観	
めざすまちの姿	○北部地域の田園・農村景観、山並みを背景とした自然景観、文化を感じる街並み景観が調和した宝塚らしさを感じる景観が保たれ、魅力を増している。	
施策	(1)「宝塚らしさを感じる景観」の魅力の向上	
総合戦略での位置付け	基本目標2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	-

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○住民主体のまちづくりや情報の発信により、市民意識の向上を図ります ○新たな土地利用において良好な景観の形成を誘導します ○自然や歴史・文化などにより培われた良好な景観の維持保全を推進します ○新たな制度設計やガイドラインについて検討します ○屋外広告物の規制・誘導を行い、違反広告物の減少を目指します 	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	都市景観保全・創出事業	
	屋外広告物事務推進事業	

担当部局評価	A	評価の理由	宝塚市景観計画に即し景観形成の方針や基準に基づき、都市景観の保全や形成を行っている。また、市民、事業者の理解と協力を得て、宝塚市景観計画に基づく景観施策や屋外広告物条例に基づく都市美化を推進している。きずなづくり推進事業も活用し、市民と協働して「宝塚らしさを感じる」景観の維持、形成、保全に努めた。
--------	---	-------	---

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		「市域全体の景観保全への市の取組が十分できている又はできている」と回答した市民の割合	↗	%	20 (H30年度)	目標	21	-	-	22	-
達成状況とその理由		R4年度はアンケート調査を実施していない									
②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	景観啓発等について協働で取組んだ市民団体数	↗	団体	-	目標	11	13	15	17	19	
達成状況とその理由		達成 きずなづくり推進事業によって、昨年度より継続で2団体の採択があったため									
③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	「宝塚らしさを感じる魅力的な景観が保たれていると思う」と回答した市民の割合	↗	%	-	目標	-	-	-	15	-	
達成状況とその理由		R4年度はアンケート調査を実施していない									

施策実現のための課題	景観を守っていくためには、所有者、管理者による維持管理が必要不可欠であり、届出等の手続だけでは良好な景観の維持につながらないため、市民への意識啓発が課題である。	課題を踏まえた今後の取組	今後も届出等の手続においての指導・助言は継続しながら、市民と協働した景観啓発の取組を行う。
------------	--	--------------	---

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(1) 地域の特性やニーズに応じた都市公園等の利活用の推進	
総合戦略での位置付け	基本目標2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	-

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ニーズに合った公園整備を推進します ○公園の特性に応じた多様な主体による管理運営や利活用を推進します ○地域の特性に応じた街路樹の整備に取り組みます 	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	既設公園整備事業	
	公園維持管理事業	

担当部局評価	A	評価の理由	指標①、②、③ともに目標値を達成したため、A評価とする。
--------	---	-------	------------------------------

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数	↗	公園	65	目標	63	64	65	66	67
		達成状況とその理由	公園リノベーション事業の普及啓発などにより、昨年度より1公園増加した。								
②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	公園で開催されるイベントの数	↗	回	-	目標	160	174	188	202	216	
		達成状況とその理由	昨年度より25回増加した。								
③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	市民一人当たりの公園面積	↗	m ²	5.2	目標	5.3	5.3	5.4	5.4	5.5	
		達成状況とその理由	令和4年度は開発事業に伴う提供公園1箇所の帰属があったため、目標値を達成した。								

施策実現のための課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズの多様化に対応するため、公園や緑地をはじめとするみどりのオープンスペースにおいて、地域ニーズに合った公園整備の推進や多様な主体の管理運営による利活用の推進による魅力ある空間の整備が求められている。 ○公園アドプト活動団体構成員の高齢化、担い手不足から活動の継続が困難な状況にある。 	課題を踏まえた今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○平成13年3月に策定した「宝塚市緑の基本計画」は、計画策定から20年が経過しており、この間、様々な社会情勢の変化により、本市の緑を取り巻く状況の変化(生物多様性の保全に対する意識の高まり、協働で働く市民の高齢化による担い手不足、公園・緑地・街路樹などの維持管理費の増大)を受け、基本計画を令和3年度末に改定した。令和5年度から基本計画のアクションプランとして、パークマネジメント計画や都市計画公園の見直し、街路樹管理計画の策定に取り組む。 ○公園リノベーション事業などにより、地域の意見を反映した公園整備を行い、公園の有効活用や公園アドプト活動団体をはじめとする地域活動活性化を図る。 ○パークマネジメント計画の策定などにより、公園の特性に応じた多様な主体による管理運営により、活動団体の担い手不足解消を図るとともに公園の活性化や利活用を推進する。
------------	---	--------------	---

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(2)花と緑が豊かで、美しく潤いのある都市空間形成の推進	
総合戦略での位置付け	基本目標2 子どもがいいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	-

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の緑化意識の醸成を図ります ○民有地の緑化を推進します ○地域緑化モデル地区指定団体を支援します 	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	緑化基金活用事業	
	花と緑の市民活動推進事業	

担当部局評価	B	評価の理由	指標①は達成、②は未達成だったため、B評価とする。
--------	---	-------	---------------------------

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		地域緑化モデル地区指定団体数	↗	団体	113	目標	114	114	114	114	114
		達成状況とその理由	活動団体構成の高齢化や担い手不足を解消するため、市民や緑化団体を対象とした花苗講習会の積極的な開催などを行った結果、緑化団体が昨年度より1団体増加した。								
		実績			115	116					
成果指標	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		花苗講習会などの参加者団体数	↗	団体	-	目標	54	55	56	57	58
		達成状況とその理由	令和4年度は前年度より参加団体が8団体減少した。								
		実績				54	46				
成果指標	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		-	—			目標					
		達成状況とその理由									
		実績									

施策実現のための課題	<ul style="list-style-type: none"> ○南部市街地における良好な景観形成や都市ブランドの向上、地域コミュニティの活性化を図るため、民有地緑化や公共緑化(まちかど緑化)の推進による魅力ある空間の整備が求められている。 ○緑化団体構成員の高齢化、担い手不足から活動の継続が困難な状況にある。 	課題を踏まえた今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○生垣助成や保護樹の指定などにより、民有地の緑化を推進する。 ○地域緑化モデル指定団体などの緑化団体へ花苗の配布等を行い、活動を支援する。 ○安倉フラワーガーデンを市民緑化推進基地として活用し、市民や緑化団体を対象とした花苗講習会などの積極的な開催や活動情報の発信、PRなどにより、市民の緑化意識醸成や緑化団体の育成支援に取り組む。
------------	---	--------------	--

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表												
施策分野	5-2 緑化・公園											
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。											
施策	(3) 緑地や里山・まち山の保全・再生の推進											
総合戦略での位置付け	基本目標2 子どもがいいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり											
施策の方向性	○緑地や里山・まち山の保全活動を促進します ○緑地や里山・まち山の保全活動団体を支援します											
施策を構成する主な事務事業	北雲雀さずきの森緑地環境整備事業 公園維持管理事業											
担当部局評価	B	評価の理由	指標①は目標値未達成、指標②、③は目標値を達成したため、B評価とする。									
成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
		緑地や里山・まち山の保全活動参加者数(県立公園含む)	↗	人	246		目標	251	256	260	265	270
		実績	238	232								
	達成状況とその理由	9団体の内、昨年度と比較して1団体が増、4団体が減、4団体が変更無だったため、結果として活動参加者数が減少した。										
	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
		北雲雀さずきの森緑地における環境保全団体の年間活動日数	—	日	-		目標	94	94	94	94	94
		実績	97	96								
	達成状況とその理由	年間活動日数が昨年度より1日減少した。										
	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
「桜の園」における環境保全団体の年間活動人数		↗	人	480		目標	509	540	572	606	643	
実績		509	604									
達成状況とその理由	資機材の提供など、市も継続して活動を支援したことなどから、目標値を達成した。											
施策実現のための課題	○防災・減災のまちづくりに対する意識や生物多様性の保全の必要性の高まり、市民活動の活発化などを受けて、里山・まち山の保全活動の推進が求められている。 ○環境保全活動団体構成員の高齢化、担い手不足から活動の継続が困難な状況にある。			課題を踏まえた今後の取組	○緑地や里山・まち山の保全活動団体へ資機材の提供等を行い、活動を支援する。 ○北雲雀さずきの森緑地では、平成29年度から社会資本整備総合交付金を活用して環境整備事業を進めており、令和4年度の整備をもって事業完了した。令和5年度は事後評価を行い、事業効果を検証し、公表する予定である。 ○令和5年度から3箇年かけて策定する「宝塚市パークマネジメント計画等」において、「宝塚しみどりの基本計画」で生物多様性保全活動拠点に位置付けている里地まち山の今後の整備方針などについても検討を行い、環境保全団体の活動促進を図る。							
行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外											

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(1)温室効果ガス排出量の削減	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	○「COOL CHOICE」などの取組を通じて、エネルギー消費量の削減を進めます ○地域主体の太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を推進します	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	再生可能エネルギー基金活用事業	再生可能エネルギー導入推進事業
	省エネルギー促進事業	
	再エネ・省エネ等脱炭素化設備導入支援事業	

担当部局評価	B	評価の理由	「温室効果ガス排出量(市域)」について、令和3年度はコロナ禍における外出自粛等により家庭のエネルギー使用量が増加し増に転じたが、令和4年度は、電気のCO2排出係数の低下等により、減に転じた。ただし、年度の目標には達していない。「温室効果ガス排出量(市事務事業)」の令和4年度実績は算出中である。「太陽光発電設備システムの設置件数」は目指す方向性に向かってはいるものの、やや目標に届いていない。ただし、令和4年9月時点のものであり、今後、年度末時点の実績が公表されると、目標に到達する、あるいは、近い数値に至ると考える。そのためB評価とする。
--------	---	-------	--

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		温室効果ガス排出量(市域)	↓	t-CO2	581,713	目標	563,542	545,370	527,199	509,028	490,857
達成状況とその理由		令和3年度はコロナ禍における外出自粛等により家庭のエネルギー使用量が増加し増に転じたが、令和4年度は、電力における火力発電の割合の低下によるCO2排出係数の低下等により、減に転じた。ただし、年度の目標には達していない。									
成果指標	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		温室効果ガス排出量(市事務事業)	↓	千t-CO2	-	目標	19,947	19,055	18,163	17,271	16,379
達成状況とその理由		電気使用量の削減や電気の二酸化炭素排出係数の低下などにより、目標より温室効果ガス排出量を低く抑えることができた。									
成果指標	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		太陽光発電システムの設置件数(累計) ※全量買取及び余剰買取分	↑	件数	4,843	目標	5,200	5,500	6,000	6,500	7,000
達成状況とその理由		令和3年度からネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の導入支援事業、令和4年度から太陽光発電設備等の共同購入支援事業を実施するなど、PRも含めた太陽光発電設備の導入推進の効果が一定あったと考える。									

施策実現のための課題	令和5年3月に「第2次宝塚市地球温暖化対策実行計画」と「第2次宝塚エネルギー2050ビジョン」を改定し、国の2030年における温室効果ガス排出削減目標を踏まえた目標を設定した。本市は、民生家庭部門の温室効果ガス排出量の割合が高く、市民への啓発を継続的に進めるとともに、ZEH導入支援や太陽光発電設備の共同購入支援事業の実施など、住宅の脱炭素化を推進している。事業者向けには、令和4年度は、国の地方創生臨時交付金を活用し、太陽光発電設備や省エネ設備の導入を支援し、事業所の脱炭素化を推進した。今後の課題としては、効果的な啓発を行うとともに、国の補助事業の活用や民間企業との連携等を行い、公共施設や住宅、事業所等の脱炭素化をさらに進める必要がある。	課題を踏まえた今後の取組	啓発については、引き続き「省エネチャレンジたからづか」の実施や「たからっ子エコライフノート」の活用拡大に取り組むとともに、SNSによる情報発信や参加型啓発事業の実施などに取り組んでいく。公共施設の脱炭素化については、国の補助事業の活用により、太陽光発電設備、高効率空調やLEDの導入を進める。住宅についても国の補助事業の活用により、太陽光発電設備やネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)、高効率給湯機等の導入を進める。太陽光発電設備については、阪神7市1町・神戸市等との連携による共同購入支援事業においても、住宅への導入を推進する。
------------	--	--------------	--

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。 	
施策	(2)関係団体等との連携による多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性の保全対策を充実します ○人の営みと自然環境との調和を取りながら、生物多様性の保全意識の向上を図ります ○特定外来生物に関する情報を提供するとともに、環境保全活動を通じて防除に努めます 	
--------	--	--

施策を構成する主な事務事業	生物多様性戦略推進事業	

担当部局評価	B	評価の理由	コロナ禍のため見送っていた「たからづかECO講座」や「ホテル観賞のタベ」を開催するとともに、「水辺の生き物探検」等のイベントの開催、生物生態系の調査や分析を行った。環境活動保全活動団体数は1減となり、目標には届かなかった。以上のことからB評価とする。
--------	---	-------	---

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		環境保全活動団体数	↗	団体数	25	目標	26	27	28	29	30
		実績	25	24							
		達成状況とその理由	活動団体が参加するパネル展は2回開催し、活動のPRを行ったが、活動団体数は1団体が活動を終了したため、1減となった。								
成果指標	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		生物多様性たからづか戦略の進捗率	↗	率	-	目標	60	70	80	90	100
		実績	52.4	52.4							
		達成状況とその理由	コロナ禍で休止していた環境学習講座等の再開により、参加者数等の数値が向上した項目もあるが、目標達成又は改善(戦略策定時数値と比較)した項目数及びその割合は前年度と同じであり、目標には届かなかった。								
成果指標	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		-	—			目標					
		実績									
		達成状況とその理由									

施策実現のための課題	<p>生物生態系については、令和3年度に続き調査を実地するとともに、令和4年度は環境審議会の作業部会による分析作業を行っており、この結果を生物多様性の保全につなげていく必要がある。</p> <p>令和4年度は、たからづかECO講座や多くのイベントを開催し、親子を中心に多くの市民の参加があり、生物多様性の保全への理解を深めることができた。一方、環境保全活動団体のメンバーは固定化し、高齢化が進むなど、活性化が進んでいない状況がある。そのため、生物多様性の保全に関心のある人を増やし、理解を深め、実践や活動に至るようつなげていく必要がある。</p> <p>特定外来生物については、リストを市ホームページに掲載しているものの、駆除方法等までは記していない。</p>	課題を踏まえた今後の取組	<p>生物生態系の調査や分析作業の結果は、生物多様性戦略の見直しの際に活用し、生物多様性の保全につなげていく。</p> <p>生物多様性の保全に取り組む人を増やしていくには、危機感を伝えるだけでなく、関心が継続し、学習・活動につながるよう啓発を工夫するとともに、活動団体の活動を紹介し、参加につながるよう取り組んでいく。また、コロナ禍においては市民活動の停滞もあったため、今後、関係団体等とも活動の進め方等について、話し合っていく。</p> <p>特定外来生物については、情報を分かりやすく充実させ、駆除につなげていく。</p>
------------	--	--------------	--

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(3)健康に暮らせる環境の維持	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	○公害の未然防止に努めます ○河川などの水質保全に努めます	
--------	----------------------------------	--

施策を構成する主な事務事業	公害対策事業	

担当部局評価	A	評価の理由	目標値に達しており、良好な環境が維持されていて、目指す方向性に向かっている。そのためAとする。
--------	---	-------	---

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		環境基準達成率(大気質)	↗	%	89	目標	89	89	89	89	89
		達成状況とその理由	良好な環境が維持されたことで、目標値を達成することができた。								
	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		環境基準達成率(水質)	—	%	-	目標	96	96	96	96	96
		達成状況とその理由	人為的な発生源による基準値の超過は確認されず、目標値を達成することができた。								
	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		環境基準達成率(騒音)	—	%	94	目標	94	94	94	94	94
		達成状況とその理由	良好な環境が維持されたことで、目標値を達成することができた。								

施策実現のための課題	大気質については、項目「光化学オキシダント」が達成できていない。これは全国での達成率が0.2%と大変困難なものであるが、兵庫県と連携し、高濃度により健康被害が発生するおそれがある際に、市民に向けて注意点等を周知する体制を整備し、健康被害の防止に努めている。水質については、人の健康に係る環境基準項目において、自然由来とみられる基準値の超過が確認されている。周辺の利水状況から健康被害のおそれはないと推測されるが、今後も監視を継続し、水質の状況を把握する。	課題を踏まえた今後の取組	現在、良好な環境が維持されていると考えるが、これを維持していくには、現状の調査を継続するとともに、必要に応じて注意喚起を行っていくことが必要である。また、さらに環境を向上させていくには、国の動向や法改正の状況、他市の実施の状況を注視・研究し、対応を図っていく。なお、検査の効率的・効果的な実施に向けて、検査項目の選別、検体数の削減、外部委託の導入方法などを検討する際は、調査目的を達成できるかという観点で、慎重に判断する。
------------	---	--------------	---

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(4)環境保全を担う人材の育成	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	○環境教育・学習を推進します ○環境保全活動を支援します	
--------	---------------------------------	--

施策を構成する主な事務事業	環境推進事業	環境総務事業

担当部局評価	B	評価の理由	コロナ禍のため開催を見送っていた「たからづかECO講座」(20名定員、7講座受講。修了者は環境マイスターへ登録できる)を3年ぶりに開催するとともに、環境フォーラムについても会場参加型で開催した。いずれも多く参加があり、環境保全の関心を高めることができたが、地域の環境保全活動のリーダーとなりうるたからづか環境マイスター登録者を増やすには至らなかったため、B評価とする。
--------	---	-------	--

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		たからづかECO講座の受講者数(累計)	↗	人	443	目標	465	487	509	531	553
達成状況とその理由	たからづかECO講座を3年ぶりに開催し、受講者数は増となった。受講者数については、R4年度は定員20名の参加があり増加したものの、R3年度が開催できず増加しなかったため、目標には届かなかった。										
②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	たからづか環境マイスター登録者数	↗	人	-	目標	6	10	20	30	55	
達成状況とその理由	ECO講座等の実施により人材育成を行い、マイスター登録者を増やすこととしている。ECO講座の開催するとともに、活動団体にマイスターの登録を促したが、新たな登録には至らなかった。										
③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	-	—			目標						
達成状況とその理由											

施策実現のための課題	環境保全活動への関心を呼び起こし、理解を深め、広がりをつくる中心的な取組みであるたからづかECO講座を2年ぶりに開催するとともに、もう一つの重要な取組である環境フォーラムについても会場参加型で開催し、環境保全への関心を高め、理解を深めることができた。そこからさらにもう一歩進めて、たからづか環境マイスターの登録や活動団体への加入等、環境保全に取り組む人を育てていく課題がある。	課題を踏まえた今後の取組	気候変動への危機感の高まりもあり、市民の環境負荷の低減、環境保全への関心も強くなっていると考えられる。新たに関心が寄せられ、話題となっている環境課題についても、啓発を開始していく必要がある。SNSやオンラインの活用を充実させるとともに、ECO講座の受講者や活動団体への呼びかけなどにより、たからづか環境マイスターをはじめ環境保全活動に取り組む人を増やすことに工夫して取り組んでいく。環境フォーラムの開催については、令和4年度は会場参加型で開催したが、オンラインの併用なども検討していく。
------------	--	--------------	---

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-4 循環型社会											
めざすまちの姿	○ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進むなど循環型社会づくりが進んでいる											
施策	(1) ごみの減量・資源化の推進											
総合戦略での位置付け	-									-		
施策の方向性	<p>○スマートフォンアプリなどを活用した不用品の販売などごみを作らない生活の工夫や資源ごみの店頭回収など、3Rの取組を推進します</p> <p>○事業系ごみの分別徹底による資源化や廃棄食材の削減などに努め、ごみの減量化を推進します</p> <p>○中間処理におけるリサイクルを推進し、焼却ごみの削減を図ります</p>											
施策を構成する主な事務事業	<p>ごみ減量化・資源化推進事業</p> <p>緑のリサイクル事業</p> <p>清掃総務事業</p>											
担当部局評価	B	評価の理由	<p>・社会がwithコロナに動き出したことから、事業系燃やすごみ搬出量は増加傾向となったが、家庭系燃やすごみ搬出量は引き続き市民の意識の高まりにより指標は目標を大きく下回ることができ、結果として焼却ごみ量は減少している。今後は事業系燃やすごみ量の減量が達成できるよう施策展開をしていきたい。</p> <p>・最終的にはリサイクルに至ることになるが、まずは、ごみを作らない、あるいは繰り返し使う社会の推進に努める必要がある。</p> <p>・評価については、事業系ごみ量が達成できていないことから「B」としている。</p>									
成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
		市民一人1日当たりの燃やすごみ平均排出量(家庭系ごみ)	↓	g/人・日	412.6		目標	412.4	412.1	411.9	411.7	411.5
		実績	405.5	396.4								
	達成状況とその理由	市民のごみ減量意識の高まりにより、各家庭から排出される燃やすごみ量は順調に減量した。										
	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
		事業系燃やすごみ排出量	↓	t	14,363		目標	14,266	14,169	14,072	13,974	13,877
		実績	14,201	14,312								
	達成状況とその理由	社会がコロナによる営業自粛などから、withコロナへと動き出したことから事業系のごみ排出量は増量傾向に転じた。(R2もコロナの影響により、対前年度比9%減であった。)										
	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
		焼却ごみ量	↓	t	53,232		目標	53,042	52,853	52,663	52,473	52,283
		実績	52,242	51,184								
	達成状況とその理由	②は増となったものの、①の達成度合いが大きいため全体では指標を達成できた。										
④	指標名	めざす方向性	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7		
	-	-				目標						
	実績											
達成状況とその理由												
施策実現のための課題	<p>・個人の不用品の処理の方法として、以前はフリーマーケットやリサイクルショップが主流であったが、現在ではスマホのアプリで売買できる環境が整い流通もこれに対応している。今後も社会の動きを注視し時代に合った啓発に心掛ける必要がある。</p> <p>・withコロナを意識した啓発の在り方を検討する必要がある。また、コロナ終息後の事業系ごみを中心としたごみ量に注視し、ごみ減量の対策を検討する必要がある。</p>		課題を踏まえた今後の取組	<p>・社会の動きを注視し、時代に合った啓発を行う。(サブスク利用によりごみを作らない。レンタルを利用しごみを作らない。不用になった物をSNSで処理しごみにしない。などを市民に情報提供する。)</p> <p>・コロナが終息しても、引き続き感染リスクを考慮すると、従来同様の地域に入っている啓発が可能かどうかは不透明である。今後の対応としては、地域への働きかけと動画配信など非接触の啓発を充実する。</p> <p>・特に事業系ごみ減量施策としては、減量の動機付けとして効果的な一般廃棄物処理手数料の見直しを検討する。</p>								
行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外											

施策評価表

施策分野	5-4 循環型社会	
めざすまちの姿	〇ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進むなど循環型社会づくりが進んでいる	
施策	(2) 安全で安定したごみ処理	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	〇計画的に修繕するなど、ごみ処理施設を適切に維持管理します 〇事業の進捗状況などの情報を発信し、市民の信頼を得ながら、エネルギー回収推進施設(ごみ焼却炉)等の新ごみ処理施設を整備します 〇高齢化により増える一人暮らしでごみ出しが難しい高齢世帯に対応した福祉収集に取り組みます	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	塵芥処理事業	
	し尿処理事業	
	新ごみ処理施設整備事業	
	塵芥収集事業	
	し尿収集事業	

担当部局評価	A	評価の理由 ・ごみ処理施設やし尿処理施設については、日常点検や定期点検を的確に実施し、各所の計画修繕や適時の修繕、整備を実施したため、施設を止めることなく安定的に運転し、市内で発生したごみやし尿を安定的かつ衛生的に処理し、衛生的で暮らしやすい生活環境を維持することができた。 ・新ごみ処理施設等整備・運営事業については、事業者選定委員会での審査を経て、令和4年10月7日付けで川崎重工業(株)グループとDBO方式による契約を締結した。地域住民への説明も滞りなく実施できており、切れ目のないごみ処理施設の運営を維持することができると考える。 ・以上のことから両成果目標を達成することができたことから評価はAとした。
--------	---	---

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		施設の緊急停止回数	↘	回	0	目標	0	0	0	0	0
		達成状況とその理由	施設の老朽化に伴い、機器類の不具合の発生頻度は増加傾向であるが、事前、適切な対応ができており緊急停止には至らずに運転することができている。								
②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	エネルギー回収推進施設(ごみ焼却炉)の整備工事進捗率	↗	%	-	目標	0	0	0	12	33	
		達成状況とその理由	令和4年10月7日付けで契約を締結し、事前工事に着手した。現状は計画どおりに進捗しているが、エネルギー回収推進施設の工事着手まで遅滞なく進めるよう注力する。								
③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	-	—			目標						
		達成状況とその理由									

施策実現のための課題	・既存施設については、日常点検や定期点検を入念に実施し、機器の異変にできるだけ早く気づくことが必要。 ・新ごみ処理施設等整備・運営事業については、事業者との入念な協議により遅滞なく事業を推進することが必要。 ・核家族化で高齢世帯が増加し、家族での助け合いが難しい時代となっている。ごみ出しにお困りの高齢の方は現在も多く存在すると推測するが、ごみ出しのサービスをどこまで拡充するのかが行政の今後の課題である。	課題を踏まえた今後の取組	・既存施設については、現在実施している点検や計画的整備を継続して実施する。 ・新ごみ処理施設等整備・運営事業については、事業者との密な情報共有を継続しスケジュールどおりに事業を推進し、新施設稼働時期が遅れることがないよう取り組む。 ・令和5年度からきずな収集利用者増に対応するため、5班体制を6班体制に増加するが、一方で現在の本市の財政状況等を勘案すると困っているだけでのサービス拡充は難しい状況であるが、今後もニーズを把握し実施要件等について検討していく。
------------	---	--------------	---

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-5 都市美化・環境衛生	
めざすまちの姿	○まちの美化活動により、きれいで快適な生活環境が保たれている。	
施策	(1)市民との協働による美化活動の推進	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	○まちを美しくするという市民意識の維持・向上に努めます ○ごみの不法投棄防止対策を進めます	
--------	--	--

施策を構成する主な事務事業	都市美化推進事業(環境政策)	都市美化推進事業(生活環境)
	不法投棄未然防止事業	

担当部局評価	B	評価の理由	2つの目標のうち1つが達成した。「宝塚を美しくする市民運動」の参加団体数は、一斉清掃の実施により、目標値を大きく上回った。
--------	---	-------	---

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		「宝塚を美しくする市民運動」参加団体数	↗	団体数	64	目標	80	80	400	400	400
達成状況とその理由	コロナ禍により、各自治会の判断による個別清掃の実施を想定した目標としていたが、令和4年度は一斉清掃を実施できたため、目標を超えた参加団体数となった。										
②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	不法投棄された家電リサイクル対象廃棄物の回収件数	↘	件数	-	目標	20	18	16	14	12	
達成状況とその理由	近年、不法投棄は減少傾向であるので目標値を高く設定している。R4年度実績は、現状(R2)を大きく下回るものの目標値には達しなかった。										
③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	
	「宝塚を美しくする市民運動」でのごみ回収量	—	t	21.7	目標	40	40	150	150	150	
達成状況とその理由	R4年度については、年2回の一斉清掃を実施できたため、目標を大きく上回った。										

施策実現のための課題	まちを美しくするという市民意識の維持・向上のためには、市民の活動機会の確保が必要であり、一斉清掃を行ってきたが、令和2～3年度は、コロナ禍により各自治会の判断に基づく個別清掃となった。令和4年度は、春秋とも一斉清掃を3年ぶりに実施したが、参加団体数はコロナ禍以前の数に至らなかった。不法投棄については、監視カメラを現状33台設置しているが、未だ一部地域に不法投棄が存在する。新たな監視カメラを設置するなど西谷地区不法投棄未然防止協議会及び兵庫県とさらに連携していく必要がある。	課題を踏まえた今後の取組	「宝塚市を美しくする市民運動」については、令和4年度に一斉清掃を復活させて実施することができたが、参加団体数はコロナ禍以前の数に至らず、より多くの団体に参加してもらうために、実施主体である宝塚市自治会連合会及び宝塚市自治会ネットワーク会議と協議を行っていく。不法投棄は減少傾向にあるが、西谷地区不法投棄未然防止協議会及び兵庫県と連携しながら、さらなるカメラの設置等に取り組むとともに、市職員によるパトロールも引き続き行っていく。
------------	--	--------------	--

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------

施策評価表

施策分野	5-5 都市美化・環境衛生	
めざすまちの姿	〇まちの美化活動により、きれいで快適な生活環境が保たれている。	
施策	(2)環境衛生の維持	
総合戦略での位置付け	-	-

施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 〇ペットの適正管理を進めます 〇害虫発生未然防止を図ります 〇墓地の長期的・安定的な供給を推進します 	
--------	--	--

施策を構成する主な事務事業	ペットとの共生都市推進事業	害虫駆除衛生事業
	畜犬対策事業	長尾山霊園管理事業
	宝塚すみれ墓苑管理事業	火葬場管理事業
	西山霊園管理事業	

担当部局	B	評価の理由	市営霊園使用者数は目標を超えたが、狂犬病予防注射接種率及び飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数については目標に達しなかったため、Bとする。
評価			

成果指標	①	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		狂犬病予防注射接種率	↗	%	77	目標	78	78	78	78	78
		達成状況とその理由	R3年度に引き続き西谷地区を除き集合注射を実施しなかったが、R2年度以前の接種率(76%前後)と同程度の率である。								
		実績			79	74					
成果指標	②	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数(累計)	↗	件数	-	目標	954	1,094	1,234	1,374	1,514
		達成状況とその理由	令和4年度の手術実施数は43(申請83)であり、昨年度の49(申請112)より、やや減少した。								
		実績				863	906				
成果指標	③	指標名	めざす方向性	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7
		市営霊園使用者数	↗	人	9,668	目標	9,770	9,872	9,974	10,076	10,178
		達成状況とその理由	様々なPR活動を行い、宝塚すみれ墓苑の貸出の増により、目標を超えることができた。								
		実績				9,808	9,936				

施策実現のための課題	<p>畜犬対策事業においては、畜犬登録制度等の改正への対応が課題である。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等助成金交付事業の認知や利用が進んでいるものの、全体数の把握は難しく、相談は毎年一定数ある。害虫発生未然防止のための公共用水路への薬剤散布、共用下水管への薬剤散布等の業務は、実施日数が目標に達しており、円滑に実施できており、特に課題はない。墓地の長期的・安定的な供給に向けては、長尾山霊園の老朽化が課題である。</p>	<p>課題を踏まえた今後の取組</p> <p>畜犬対策事業について、狂犬病予防注射は、R3年度に引き続き西谷地区を除き集合注射を実施しなかった。やや目標には届かなかったが、この方向を継続する。また、畜犬登録制度等の改正に応じて、現状の畜犬システム(当市独自システム)の改修等、対応を検討する。飼い主のいない猫やペットによるトラブルを減らしていくために、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等の助成の利用、猫の飼養に関する啓発、苦情相談などを継続的に行っていく。害虫駆除業務は、害虫駆除相談に対応しながら、計画的、継続的に実施していく。墓地の長期的・安定的な供給に向けては、長尾山霊園は施設・設備の老朽化対応を図っていく。宝塚すみれ墓苑は、令和5年度から樹木葬の供用を開始し、市民ニーズに対応する。</p>
------------	--	---

行政評価委員会評価	令和5年度外部評価対象外
-----------	--------------